

6月定例会を振り返って

会派の意見

市民クラブ

市民目線で課題をとらえ
解決につなげます

田鍋剛議員は、ごみ収集における「ふれあい収集」（自らごみステーションまで家庭ごみを持ち出すことが困難な高齢者や障がい者等の世帯を対象に行う戸別収集）の検討状況をただし、環境部長は、実施に向けて具体的に検討しており、安否確認も含め、本年度中に事業概要を決定し、平成30年度早期に試行したいと答弁した。

岡崎豊議員は、障害者福祉について質問し、基幹相談支援センターや自立支援協議会に関しては、それぞれの機能や体制の強化の方針が示され、教育現場での障害者差別解消法の取り組みについては、保護者も含め、合理的配慮を深化させる方針が示された。また、子どもの貧困対策については、学習機会の充実と就労準備制度の制度化、保

護者支援のための子ども家庭支援センターの機能強化を求めた。

岡崎邦子議員は、市長に伊方原発で事故が起こった場合の備えをたまたした。また、就学援助制度の入学準備金の3月支給を求めた。母子健康手帳交付時の100%面談や宿泊型産後ケア事業の早期実施については、こども未来部長が前向きに検討中と答弁。また、北部地域の人口増による課題や交通対策について、市の方針をたまたした。

新風クラブ

◆上下水道事業の課題は？

吉永哲也議員は、上下水道事業の経営に企業債残高が重くのしかかっている現状を憂慮し、特に雨水対策事業に関する今後の整備計画や財政見通し等について質問。執行部からは、雨水事業は概ね完了しているが、さらなる浸水対策が必要な地区もあるため、財政的な制約はあるものの、市長部局と協議して施設の長寿命化計画などによる投資の平準化を図り、浸水リスクが高い地区における効果的で経済的な浸水対策に計画的に取り組んでいきたいと答弁があった。

◆食肉センターをどうする？

清水おさむ議員は、と畜事業の累計赤字約6億1000万円の原因は国の自由貿易拡大政策に起因する県内畜産業の衰退であると指摘しつつ、本市を含む28市町村で構成する高知県広域

食肉センター事務組合が施設の整備と管理を担い、高知県広域食肉公社がと畜事業を担う上下分離方式の評価と反省について質問。執行部は、4・5月の牛のと畜頭数が前年同月比で2割減少していることや、公社が日々の資金繰りに相当苦労している危機的な経営状況を説明した。

日本共産党

◆「食肉センターあり方検討委答申実行求める決議」に反対討論

◆一般質問・討論に全7議員が登場。上下水道料の値上げは避けられないとの経営審議会答申は、利用量減少の過大な見積もり等での赤字試算の結果と矛盾を追及。「水」は公共の福祉におけるライフラインであり、低所得者への上下水道料減免を求めたが、拒否。◆新図書館西敷地利活用プロポーザル選定委員会は委員名も検討過程も公開せず、特定企業のために条件をすり替え、市民や議会の意向を排除して強引に進める市政のゆがみが明らかに。◆希少な生物が生息し、歴史・文化的価値の高い新堀川を市民の憩いの場となる親水公園にと提言。道路拡張は通学時の危険が増すと指摘し、工事中止を要求。◆高すぎる現状の国保料と、窓口負担の減免制度が実質利用できない実態を示し、改善を求めたが困難と市民を切り捨てる答弁。◆県広域

公明党

◆市民の理解を求めて

寺内憲資議員は、歩きたばこ等の防止に関する条例について、本市と同じ目的の条例を制定している松山市等が、加熱式たばこを規制の対象外としていることから、本市もそうすべきとの立場で質問を行った。本条例は施行中であり、早急な結論を市長に求めました。

大久保尊司議員は、紅水川南部に位置している福井東町、南万々地域の浸水対策について、内水シミュレーションの結果を踏まえ、今後の対策および住民への周知方法について質問し、上下水道事業管理者からは関係部署と協議を行いながら経済的で効果的な浸水対策を検討していくと答弁を得ました。

西森美和議員は、豪雨により慢性的な浸水が発生する一ツ橋町・三園町の排水対策について、県市の浸水対策調整会議の議題として検討するべきだと強く訴え、上下水道局から「公共下水道事業に位置づけた計画の策定を目指し、県と調整する」との方向性が示されました。

新こうち未来

◆個人質問に戸田二郎議員、川村貞夫議員、浜口卓也議員が登場。

戸田二郎議員は、県市連携による高知城の国宝化、長宗我部元親の居城であった浦戸城の再建を提案した。その他、避難所等への浄水装置の設置、愛媛県の本造校舎を例に本市における建築物の木造化について質問。川村貞夫議員は、公共施設へのCLT工法の積極的な導入を求め、森林環境学習の重要性にも言及。また、レジオネラ菌が検出されたかがみ温泉R10の早期再開を求めた。

浜口卓也議員は、特別支援教育の改善策について質疑を行い、学校が主体となった支援会開催のシステム化などを求めた。その他、市営住宅再編計画に関して総量削減の必要性を述べた。

みどりの会

◆みどりの会・近森市議の活躍

放課後児童クラブ8時間所決定スポーツリズムの営業開始残業手当を5900万円カット新図書館西敷地の有効活用を丸の内緑地と藤並公園の整備を市街化区域の弾力的な土地利用土佐山小一貫校に全国が目撃誠和園の委託が決まり移転決定

